

会議の名称	令和7年度 第1回健康づくり推進協議会
-------	---------------------

事務局	<p>※ 案件に入る前に、会議の出席者について事務局より説明</p> <p>それでは、案件に入る前に、本日出席の委員についてお知らせします。まず、委員の変更についてです。1人目は歯科医師会代表の後村委員に代わりまして、昆歯科医院院長の昆麻子委員です。よろしくお願いします。2人目は、町校長会代表の鹿原委員に代わりまして、百石中学校校長の中村光洋委員です。よろしくお願いします。なお、お二人の委嘱状は、お手元の封筒に同封しておりますので、ご覧ください。</p> <p>続いて、青森県三戸保健所所長立花委員の代理で、保健所健康増進課長青木範子様が出席されています。よろしくお願いいたします。また、本日、オブザーバーとして、技師の片山様にもご出席いただいております。よろしくお願いします。</p> <p>最後に、おいらせ病院院長の磯島泰委員、町内小中学校の養護教諭代表の佐々木愛子委員が欠席されていることをお知らせします。</p> <p>ここで、委員名簿について訂正があります。本日ご参加の保健衛生機関代表、町保育会吉村啓介様は、副会長となっておりますが、正しくは会長になりますので、訂正をお願いいたします。大変失礼いたしました。</p> <p>それでは、この後の議事進行は渡邊会長をお願いいたします。</p>
渡邊会長	<p>【3 案件】 13:09</p> <p>本日の会議は、議事録署名人による確認により、議事録を作成いたします。議事録署名人は袴田健委員と柏崎繁信委員にお願いします。よろしくお願いします。</p> <p>それでは案件に入ります。案件1は健康づくり21の進捗状況についてです。では事務局から説明をお願い申し上げます。</p>
事務局	<p>※「健康おいらせ21」について、配布資料に沿って説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人口動態からみた現状と健康課題 ・令和7年度おいらせ町保健（福祉）活動（重点事業と主な事業との関係図） ・「健康おいらせ21」体系図 ・施策ごとの取組状況シート
渡邊会長	<p>ただいま事務局からの説明が終わりました。</p> <p>これから質疑に入ります。「健康おいらせ21」の進捗状況につきまして、質疑および意見等はございませんでしょうか？</p> <p>（なし）</p> <p>では、せっかくの機会ですので、お一人ずつお話をいただければと思います。柏崎委員から順番にお願いします。</p>
柏崎(繁信)委員	<p>私は一般公募ということになっていますが、行政書士を生業として仕事をしております。役場の方のおすすめもありまして、町の健康長寿のまちづくり協定締結企業に入っております。個人企業ですけれども、資料にもございますように、運動をすとか、血圧や体温を測るなどを毎日行っています。また、健康に関しての様々な情報をNHKやその他マスコミ等で見ながら、健康に気をつけています。</p>

袴田委員	<p>この会議にも出席させていただいて、勉強になりました。以上でございます。</p> <p>スポーツ協会の袴田でございます。スポーツ協会としましては、身体活動のところで、協会の会員数の減少が単位協会では問題になってきていて、少子化ともあいまって、運動する子供が減り、大人も色々な社会的な要因もあって、運動する方が減ってきているなというのを感じているところです。各単位協会、またスポーツ協会全体でも、工夫しながらやっているところではあるのですが、なかなか決定打を見出せず、他の県とか市町村の成功事例などを見てもいいのが見つからず、どうしたらいいのかというところで検討しているところです。</p> <p>個人的にですが、自殺対策のところで、ゲートキーパーの増加と対策の相関というか、効果測定というのはどのようにされているのかというところ。ゲートキーパーが増えてどのように自殺が減っていくのかなあと。個人的には自殺しそうな人をゲートキーパーにしてはどうかと思いますが、いかがでしょうか。</p>
事務局	<p>ゲートキーパーの増加と自殺の相関というのは具体的に統計を取っているわけではないですけれども、ゲートキーパーは“門番”という意味です。人の心に寄り添ったり話を聞いてくれたりする人が増えることで、悩みを吐き出したり、相談を聞いてもらったりすることで自殺に向く心をちょっと抑えられる、だから、自殺者が減っていく、というような意味でこのゲートキーパーの増加は国をあげて力を入れているところです。そういう統計はないのですけれども、おいらせ町もゲートキーパーの研修をやり始め、そして、うつスクリーニングもやっているのです、どちらの効果かは分かりませんが、長期的に見ると自殺者は減少、波はありますけれども、以前に比べると減少してきたというところまでしかお答えできなくて申し訳ありませんが、よろしいでしょうか。</p>
袴田委員	<p>ありがとうございます。</p>
柏崎(幸子)委員	<p>生活改善グループからですね、地産地消と食育のところで、資料にもありますが、6年度と7年度の取組のところに、栄養教諭から、地産地消の給食について学ぶとか、いろんなメニューとか情報を提供していただいています。生活改善のさつきグループでも、もう20年位になりますけれども地元の米を使って、青森県の豆を使って作った味噌を給食センターに約600キロ、毎年納入しております。野菜の方も農協さんから、その時期のものを納品してくださっていると聞いていますので、できるだけ地元の食材をたくさん使っていただきたいなと思って頑張っています。学校や子供たちへの情報の提供で残食も無くなるようになればいいなと思っております。</p>
北向委員	<p>農協の北向です。野菜を我が家で野菜を食べるのは私と妻なんです。若夫婦はあんまり食べない。肉って感じ。そうすると孫まで食べない。で、たまに、きゅうりやトマトを作ったりして食べさせると「美味しい。」という言葉が孫から出るんですよ。野菜を食べるという習慣がだんだん薄れてきているんじゃないかなと思います。我が家でも野菜を食べなさいと言っていますけれども、野菜も自分なりに美味しい、甘い野菜とかキャベツとかを作って食べさせたりしているのですが、他所にあげる分には評判がいいんですよ。自分のうちではあまり食べない、肉がメイン。野菜を食べさせたいなと思ってます。</p>

<p>天間委員</p>	<p>皆さんこんにちは。本日は商工会の女性部の代表としてきました。あの、副部長と書いてありますけれども、今年の4月から部長になりました。よろしくお願いいたします。商工会としては、やはり健康づくりの連携ができる企業を町と協力して増やしていきたいということと、あと町の取り組みを聞くと本当にきめ細やかなですね、町民に対しての健康作りのサポートだったりとかをして、皆さん大変だろうなと思って聞いておりました。皆さんの健康を害さないようにお願いしたいなと思うのと、ちょっと企業として先ほども言ったように連携の企業と、あとは色々な取り組みをされているので、一生懸命啓発ということをした方がいいと思うので、商工会とかを利用して、例えばポスターを貼るとかチラシを置くとか、そういう協力できることがあると思うので、お声がけをしていただければと思います。</p> <p>あと私自身、歯科衛生士会に所属しておりまして、町のオーラルフレイル対策への協力だったりとかと、先ほどゲートキーパーのお話も出たんですけども、やはりあの精神のうつ病だったりとか、色々な精神の不調を抱えた時に訴えられることも大切ですし、周りの配慮とか、認知症もそうなんですけども、正しい病気の知識っていうものを周りの方も持った方がいいということで、ゲートキーパーも増やしていった方が私もいいかなと思って聞いておりました。</p> <p>色々な活動をこれからもさせていただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。</p>
<p>大村委員</p>	<p>こんにちは。大村と申します。赤十字奉仕団の代表ということなんですけど、本職の方は母子寡婦福祉会の1人親家庭の団体の会長をしております。</p> <p>おいらせ町は住み良い町という割には自殺者が多いなっていうのが第一印象としてありますけれども、年を取ってきますと、結局、免許返納などで家から出る機会が少ないんですね。ですから、もう少し交通費が安くなれば、せっかくイオンがありますし、やっぱり人間、人と交わることで、ボケ防止と言え失礼ですけども、少しは生きる支えというか希望を持てると思うのですが、だんだん免許を無くすると出てくる人が来ない。だから、そういう高齢者の人たちが気軽に出入れるような、そういう交通手段をもう少し考えてほしいなという気がします。いきいきサロンにしろ、出ている人を見ると男性が随分少ないな、家にこもっていないで外に出てみんなとお話することで、少しは生きがいを持てて生活が楽しくなるのではないかなと、私自身そういうところに参加していいと思います。以上です。</p>
<p>山崎委員</p>	<p>山崎と申します。生活支援員として参加しておりますけども、生活支援員として訪問した時には、「ちゃんと食べれている？」とか、「体調どう？」「どんなの食べてる？」などと声かけをして、なにかあったら役場でこういうのがあるから相談してねとか、といった声かけをするようにはしております。それと、今、立場としては、傾聴ボランティアあゆみの会の会員です。日頃から担当課の皆さんには本当に支えていただいております。年3回、定期的に活動しながら、コロナ前は各施設を訪問しまして、結構な活動しておりましたけども、コロナになって施設の方からも声がかからなくなり、会員もなんとなく寂しいような雰囲気でもありましたけども、幸い、役場では2年に1回ずつ、傾聴ボランティア養成講座もしていただき、会員を増えまして、そしてコロナが落ち着いてきて、施設の方からも徐々に声がかかるようになり、また各3箇所の定期的な会場には何回も足を運んでくれる人も少しですが増えてきました。その意味で本当にささやかな微々たるボランティアの活動ですけども、気軽に寄って</p>

	<p>おしゃべりして、少しストレスを晴らして、そして帰りは「ありがとうね。また来るからね。」ってそういう人も中にはいるので、それを支えに役場の皆さんの支えを力にして、少しずつまた進めていきたいと思っています。ありがとうございます。</p>
佐々木委員	<p>老人クラブ代表で参りました佐々木公明と申します。今日のこの資料をいっぺんに 15 ページも出していただいて、僕は何が問題かと言われても答えようがないんですね。申し訳ないんですが、これを事前に配って勉強してから、会議に参加させるとかいうことであれば良かったかなという風に思っております。以上です。</p>
吉村委員	<p>おいらせ町保育会の会長を務めさせていただいております吉村と言います。今日頂いていたこちらの資料の中の 1 番最初のページに乳児死亡が 0 となっているところをいいことだなと思って見ていました。結局、保育施設でもそういう事故が出ていないっていうことの現れでもあるかとも思います。ごくごく稀にはありますが、まだご飯も食べられないような状況であっても、乳製品アレルギー、通常の粉ミルクが飲めないお子さんを預かって欲しいっていうような、そういったお子さんもいたりしましてですね。それだけじゃなくても子供全般にあたって小麦のアレルギーだったりとかそばのアレルギーだったりとか。食事の提供にあたってやっぱり死亡事故みたいなのをこうやって見ると、保育施設が担っている子供の命の重さっていうのは大きくあるんだよな、という風に思っておりました。</p> <p>あの、先ほどおっしゃった通り、世帯数が増えているけれども、人口が減っているというところ、出生数の数を見ても、やはり令和 3 年 198 だったものが令和 6 年 170 になっている。こんなところを見ても、やっぱり全国的な少子化の波っていうのは、こういった小さなおいらせ町にもあるのかなと思って見ていました。こればかりは町の政策であったりとか、自治体の政策だけではなかなか解決のしようがないのかなと思いますけれども、何かの政策によって改善の方に動いていってくればいいなとは思っておりました。以上です。</p>
立花委員	<p>健康課題というところは自分にも当てはまるような気がします。皆さんの方からもうアドバイスをよろしくお願ひしたいと思います。普段からやっていると思いますけれども、私自身、毎日散歩するとか、ある程度の健康を自分で考えてやっていかなければならないなという風に思っています。本当にこれからも皆さんのアドバイスをよろしくお願ひいたします。</p>
澤上委員	<p>食生活推進員をしております。よろしくお願いします。私たちは食生活の改善推進員ということで、1 歳半の子供たちに、だしを通して塩分を取りすぎないようにしましょうとか、あと、一緒に来たパパママにも理解していただくっていうことをしています。そして、もう 1 つは甲陽小学校の子供たちと一緒においらせ産の大根を使って切干大根を作り、それを使って一緒に一品作って食べてもらう、そして、おいらせの特産の大根を学んで、これからも好き嫌いの無いような食生活とかバランスの取れたご飯を大事にしていきたいなと思って、今の活動を続けています。これからもよろしくお願いします。</p>
村田委員	<p>皆さんこんにちは。保健協力会の会長村田です。私たちの活動はまず町の健診の受診率向上を図るための受診勧奨活動がメインです。コロナの前は各家庭へお邪魔していたんですけど、コロナのために皆さんのお宅にお邪魔できなくなりました。そのために少し体制を変え、</p>

	<p>5月27日にイオンさんをお借りして、そこで勸奨活動をいたしました。そして、昨日、職員さんのお手伝いをいただいて、ももし祭りのパレードに初めて参加して、なかなか好評だったようです。まもなく、しもだ祭りにも参加いたします。そして、1人でも多くの皆さんの耳に入るように頑張っていきたいと思います。</p> <p>それから全体の活動は7月23日から町の集団健診が始まりましたけども、それを私たち保健協力員が早朝のお手伝いに参加しております。1回に4,5人お邪魔しておりますけども、そこで少しでもお役に立てばと思って、毎年頑張っております。</p> <p>それから、会員の意識向上のため、年2回研修を行っております。1回目は9月25日に青森市の県の防災教育センターに行って、命の大切さを勉強して参ります。2回目は1月から2月頃を予定しております。</p> <p>その他に、県や保健所管内の各会議、研修と色々と知識をいただいて、さらに頑張ってお手伝いすることがあればと思っております。今日の資料を見ましても、それこそ1ページから15ページまで全部保健協力員が関連できる項目だなと思っておりますので、また会に戻りましたらしっかり伝えていきたいと思います。今日はどうもありがとうございます。</p>
浅田委員	<p>婦人会から参りました浅田と申します。まず1ページの死亡のところで令和6年死産数が3人になっているんですけど、その死産の理由は何なんだろうってまず思いました。どんな理由で生まれなかったのかなってのが1つ。それから100歳体操っていうのがありますね。実はその100歳体操を始めたいなって思っているんですけど、聞いたところによりますと、「始めたら休めない」ってお話を伺ったんです。夏の間は皆さん忙しいと思いますし、できる日だけでもやりたいなって思っているんですけど、そういうことって可能なんでしょうか？教えていただきたいです。以上です。</p>
事務局	<p>死産数のところなんですけれども、一定の週数を超えると死産届を出していただくことになっております。死産の理由としては、お腹の中で染色体の異常だったりとかっていうのもあって、流産というようなことが件数としては多いのではないかなと思います。けれどもこの3件に関する細かい内訳というのは把握しておりません。ただ毎年の様子を見てみると、そういった死産が多いかなという風に思います。</p> <p>100歳体操についてですが、ご参加いただいているようで本当にありがとうございます。決して絶対休めないというものではないのですが、最低週1回、その100歳体操の筋肉運動を続けなければ筋力が維持できないという理由で、多分リーダーさんたちが一生懸命で休めないよっていう風にお伝えしてくれているのかなと思います。やはりそういう理由で、できれば休まずに週1回、よほどの悪天候、体調不良じゃない限り通っていただければいいのかなと思います。</p>
浅田委員	<p>介護予防教室っていうのを水曜日に北公民館の方でやっていただいているんですね。私も何度か参加させていただきましたけど、ものすごくいいことだなって思いましたので、これからもずっと続けてください。</p>
事務局	<p>包括支援センターの方で企画している事業ですので、必ず伝えておきます。</p>
浅田委員	<p>ありがとうございます。</p>

中村委員

百石中学校の中村です。学校関係の方では、生活習慣病については、これまでは主に中学校3年生の方で扱って知識を習得していたんですけど、今は昨今の状況を受けて小学校の高学年から中学1、2、3年生、それぞれで、段階に応じて広く知識を得るような状況になっていました。ただ、やっぱり学校の課題としては、基本的生活習慣のところですね。就寝時間が遅かったりとかということによって、朝起きなくて朝食をなかなか取れないとかそういう状況もありますので、そういった意識のところを高めていきたいなと思ってました。やはり今ではスマホとかタブレットの所持率も上がってってますし、家に帰ると保護者から借りてやってたりという状況にもありますので、各家庭でも有害なサイトにいかないようにフィルタリングも施してくれていたりとか、あとはもう家庭の中でのルールですね。就寝する時には自分の部屋に持ち込まないで、1階で充電するとか、何時間までだよっていう風なのをやってくれてるんですが、やはりその中で家庭の中に差があったりして、その生活習慣のところを子供たちが主体的に自分のことしっかりやれるようにということが課題になっていました。全校で話し合い活動をしたりとか、色々と情報をもらえる教育とか集会をやっているんですが、まだまだ高めていきたいなと思っております。

あと、やはり運動習慣ですね。今、部活動の地域移行や、かつては部活動全員加入でやってたんですけども、それで不適応を起こすお子さんも出てきていたりして、今は任意加入、自分で判断して入りましょうという風にしてますので、部活動加入率が少しずつ下がってきております。なかなか地域移行の方も、地方は受け皿が無くてですね。思うように進まないというところもありますので、学校の方では体力テスト毎年やっていますけれども、その結果を子供たちに考えさせて自分のいいところ課題なところを考えさせながら、どういう風にしてトレーニングとか体力を高めていくかっていうようなことに取り組みせていますけれども、まだこれについても課題がある状況です。

食育の方について各学年で学校栄養士の方々に来ていただいて、講話をしております。あとは体験学習で、今年は七戸の営農大学校に行って農業体験をしたりとか、三農恵拓さんに行って同じように実習をしたりすると、やはり普段食べてるものはこういう風な苦労してやってるんだとか、そこで収穫したものをいただいたりするとすごく意識が高まって、帰ってくる時は良い表情をしてきているので、こういったところを無くさないようにして、これからも続けていきながら、触れる機会を作っていきたいなと思っております。

最後に、自殺対策の方についてですけれども、今は小学校1年生と中学1年生の時に県からですね、24時間のご相談ダイヤルとか、県内のいろんな相談窓口の周知、テレホンカード大の、いろんな相談窓口が掲載されたものが配られています。相談窓口の方もLINE相談とかSNSをこう色々展開し始めているんですけども、そういったところも周知しながら、こういう時はこう相談できるというようにしていきたいなと思っているのと、うちの保健部局の方も協力もいただいて、心の健康教育とか、SOSの出し方教育の方も展開しています。これからのところは続けながらになります。ただ、今は、学校の方もだいぶ世間で言われてるとおり教員の方成り手が少なかったりですね、いろいろお騒がせしているところですけども、あまりブラックブラックって言うと希望する方も減ってくるので、今の働き方改革を学校でも進めておりまして、部活動なんかも、複数で担当して軽減しながらやってるところありますので、そういったところも広めていただきたい。魅力的な職業ですので、なんとか子供たちのそういう意

<p>昆委員</p>	<p>識とか意欲を喚起していきたいと思いますので、これからも地域の皆さんのご協力いただければと思います。</p> <p>よろしくお願いします。</p> <p>昆歯科医院の昆です。よろしくお願いします。歯科医として、7ページのあたりも気になるところではあるんですけども、やはり健診、歯科検診に対する受診率が非常に低いっていうのは問題で、さらに言うと受診してから治療が必要な方の受診率っていうのは非常に低いっていう風に思っています。それはこういった成人健診に限らず、小中学校の健診でも健診結果を持って夏に来るっていうお子さん非常に少ないですし、保育園等でもそういったお子さん少ないっていうのが現場の感じるところではありますので、今、2025年度を目標に政府としては国民皆検診、国民皆歯科検診っていうのを進めている最中ではあるんです。ただ、政府が色々コロコロ変わるので、状況は変わってますけれども、年1度歯科医院を受診して歯科検診を受けるっていう方向に進んでいます。そういったのも含めて、おいらせ町は特に子供の虫歯保有率が高いので、そういったところをうまく使いながら、あと学務課とかと課を超えて、フッ化物洗口等を推進していくような方向になっていますので、今年度、近隣市町村を含めると、多分6割以上の市町村でフッ化物洗口が始まってると思っています。おいらせ町もできればスタートできればなという風に、おいらせ町の歯科医院でちょっとお話を進めながら学務課とか、あとは学校の先生方と相談しながら、こういうところ進めていければ保有率も下がっていくのかなと思っています。</p> <p>あと、やはり検診はお手紙が来た時だけ受診が増える傾向にあるので、継続的な周知っていうのは必要なのかなっていう風に思っています。以上です。</p>
<p>青木課長 (立花委員代理)</p>	<p>三戸保健所健康増進課長の青木と申します。今昆先生からフッ化物洗口の話をして嬉しく思ったんですけども、青森県の第3次青森県健康増進計画、この中でも小中学校におけるフッ化物洗口の実施率100%ということを目標に掲げております。計画ができた当時、令和5年の状況としては県内で7.3%でしたけれども、令和7年4月現在では40.8%となっております。当初から始めていらっしゃる三沢市さんですとか、青森市、弘崎市、五所川原市など11市町村では実施率が100%という風になっております。ここの管内、八戸市を入れないとすると7町村になりますが、7町村の中でも本年度から三戸町さんが開始しておりますし、来年度の開始に向けて動いている町村がすごく多いということでしたので、おいらせ町さんも思っておりましたが、昆先生から力強いお言葉をいただき、是非おいらせ町の小中学校でも始まっていただければいいのかな。学校さんの負担も大きいと思いますので、なかなか難しい面もあるかと思いますが、今昔と違って簡単なフッ化物があるということですので、以前に比べると始めやすい状況になっているそうですので、そういうものも活用しながら、是非ご検討いただければいいかなと思っております。</p> <p>14ページの心の健康のところ、心に限定しませんが、おいらせ町さんでは、健康長寿のまちづくり協定締結企業として、働き盛り世代の健康増進ということで、職域との連携を精力的に進めています。この中でもストレスチェックを実施する企業が増えてきているということですが、保健所の方で働く人の健康づくり応援プログラムというのをやっております。その中でも心の健康づくりのプログラムを申し込みされるところが半分ぐらいありまして、従業員50人未満の事業所でも、ストレスチェックが始まるとい</p>

	<p>うこともあるのか、心の健康に関しては関心が高くなっているのかなと思っております。この協定締結企業と一緒に心の分野でも連携していけるといいのかなと思ってみておりました。以上になります。ありがとうございます。</p>
渡邊会長	<p>私から一つ。 1 ページで当町での標準化死亡率で糖尿病で死ぬ方が多いようですけど。死亡診断時はどういう形でいきます？糖尿病性腎症とかですか？</p>
事務局	<p>こちらの統計は保健統計の中で書かれているものなので、実際の死亡診断書から導いて町が把握しているものじゃないので、詳細は分からないんですが、原因疾患が糖尿病から来るものというので、県等ではまとめられているものだと思います。</p>
渡邊会長	<p>肺炎に関してはやはりコロナとかその辺でしょうか。</p>
事務局	<p>肺炎も最後死亡診断書で判断した先生の判定になるので、どのような内容での最後肺炎という診断になっているかは分からないですけども、肺炎は以前から高齢者も含めて多いので、ちょっとあの重点的に肺炎も含めてですけれども、糖尿病も含めて力を入れていきたいと思います。</p>
渡邊会長	<p>どうもありがとうございます。 他にご質問ご意見等ございませんでしょうか？ないですか。 ではその他の項目に移ります。</p> <p>その他について委員の皆さん何かございますか、事務局から何かございませんでしょうか？</p>
事務局	<p>事務局よりお知らせいたします。 今年度の協議会開催は本日の 1 回を予定しておりますが、協議を要する案件が出た場合には、委員会を開催する場合があります。 その際は改めてご案内いたしますので、よろしくお願いいたします。</p>
渡邊会長	<p>以上で案件を終了いたします。 進行を事務局にお返しいたします。</p>
事務局	<p>渡邊会長ありがとうございました。ここで健康保険課長の鈴木より一言皆様にご挨拶申し上げます。</p>
鈴木課長	<p>ご挨拶申し遅れました今年 4 月から健康保険課の課長を拝命しました鈴木と申します。昨年度は保健こども課ということで、成人の保健あるいは子供の健康増進などを務めていましたが、今年はその保健の項目が 2 課に分かれまして子育て支援課と、今私がいる健康保険課になりました。閉会にあたりまして、一言ご挨拶を申し上げます。</p> <p>本日は、令和 7 年度の町健康づくり推進協議会への参加いただき、誠にありがとうございます。また、委員の皆様にはそれぞれの立場から、熱心にご意見を頂戴いただき、日頃から地域の健康づくりにご尽力いただいていること、改めてお礼申し上げます。</p> <p>本日の審議を通じて寄せられたご意見、ご提言などにつきましては課に持ち帰って、検討させていただきたいと思います。</p> <p>さて先日、新聞報道された内容ですが、全国で 100 歳以上の高齢者</p>

事務局	<p>数が、過去最高を記録し、10 万人に迫っているという記事を拝見しました。特に女性の寿命が、87.13 歳ということで、これが世界一、40 年連続だそうです。40 年連続で入る世界一という長寿命大国になった。その一方で健康寿命との差が 10 年前後であって、この間隔をいかに短くしていくかという今後の高齢化社会の課題であると言われております。いかに元気に自分らしく暮らしていくかというのは、誰にとっても大切なテーマです。フレイルや生活習慣病を防ぐこと適切な栄養、適度な運動、孤立を招かないように様々な社会参加を続けるということは、私達一丸となって、地域で取り組まなければならない課題だと思っております。しかしそれがなかなか進まない。わかっているけども行動に移せない、そういうことがあるかどうかともわかりませんが、青森県は全国で最下位の平均寿命だったり、あるいはがんの死亡率もですね、全国最下位で死亡率が高いというような状況になっております。良いとわかっていることを行動に移すこと、つまり、自分自身の行動変容ですね。どう繋げるのかというのが、私達の方でも課題として認識をしております。</p> <p>その中で皆様に配布している 11 月 26 日のこの講演会ですが、タイトルが「なぜあの人は行動しないのか」というタイトルになります。まさに先ほど言った課題についてですね、解決方法を探るための手立てになる勉強会になりますので、再度のご案内になりますが、お時間ある方はぜひ参加いただければと思います。</p> <p>私どもとしても健康おいらせ 21 が掲げる「みんなが互いに助け合い、健康で心豊かに暮らせるまち」の実現に向けて、引き続き健康づく施策に取り組んでいきますので、皆様方のご協力をよろしくお願いいたします。</p> <p>最後になりますが、皆様の活動がより実りあるものになること、そしてますますのご活躍を祈念しまして、挨拶とさせていただきます。本日はありがとうございました。</p> <p>では以上で、令和 7 年度第 1 回健康づくり推進協議会を閉会いたします。ありがとうございました。</p> <p>【 4 閉会】 14 : 27</p>
-----	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

上記会議録は、会議内容と相違ないことを確認しました。

会議録署名人 おいらせ町健康づくり推進協議会

委 員 _____ (印不要)

委 員 _____ (印不要)